



A Rockwell Automation Event

## イベント概要:

- 開催日:** 2023年9月12日(火)および13日(水)  
**開催時間:** 10:00~17:00 (入場受付 9:40~)  
**会場:** [コンgresクエア日本橋](#) (2階・3階)  
**参加費:** 無料 (事前登録制)  
**聴講対象:** 設計部門全般・生産管理・生産技術・品質保証・DX推進・IT推進・業務改革部門の責任者の方およびご担当者様  
**主催:** ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社  
**後援:** 在日米国大使館 商務部  
**協賛:** シスコシステムズ合同会社、  
 日本ストラタステクノロジー株式会社、  
 富士ソフト株式会社

この度、近年の市場動向や環境傾向の背景から、今後の日本市場におけるスマートファクトリー化というものがいかに重要視されているかということを紹介するイベント『ROKLive Japan 2023』を開催いたします。基調講演は、経済産業省、株式会社日本政策投資銀行、株式会社野村総合研究所、NEDO (国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)、CESMII (The Clean Energy Smart Manufacturing Innovation Institute: 米国のスマート製造に関する国立研究機関)より講演者をお迎えし、市場での攻防双方に寄与するDXについてお話いただきます。会場で皆様にお会いできることを楽しみにしています。

## イベントスケジュール:

時間	9月12日(水)	9月13日(木)
午前	・基調講演	・基調講演
午後	・ユーザ事例講演 ・協賛パートナー講演 ・ロックウェル・オートメーションの講演	・ユーザ事例講演 ・協賛パートナー講演 ・ロックウェル・オートメーションの講演
夕方	懇親会	
終日	・ロックウェル・オートメーションのデモ展示 ・協賛パートナーのデモ展示	

## 協賛パートナー:

シスコシステムズ合同会社

日本ストラタステクノロジー株式会社

富士ソフト株式会社



## ご挨拶

ロックウェル・オートメーション  
アジア太平洋地域社長

スコット・ワールドリッジ



2017年にオーストラリア・ニュージーランド地域のディレクターとしてロックウェル・オートメーションに入社。その後オーストラリア、ニュージーランド、日本、韓国、東南アジアを統括する環太平洋地域の副社長として、アジア太平洋地域の成長イニシアチブと組織開発計画を実行し長期目標を達成。

ロックウェル・オートメーションに入社前は、オーストラリアの Energy Action で CEO、オーストラリアのエネルギータン率化評議会で理事を担当。オーストラリアのタスマニア大学で電気および機械工学の学士号取得。英国のハル大学で MBA 取得。

ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社 代表取締役社長

矢田 智巳



ロックウェル・オートメーションに入社以前は、IT 業界においてコンシューマーリテール事業の立ち上げを行い、リテール営業本部長などの要職を経験。その後ダッソー・システムズ株式会社のバリューソリューション事業部において技術統括に従事し、のちに執行役員・事業本部長を務め同社事業の転換と拡大に貢献。

2020年1月よりロックウェル・オートメーション現職。  
カーネギーメロン大学経営学修士。

アメリカ合衆国大使館 商務部  
上席商務官

マイケル・ミドルトン 様



米国商務省の外交官で、現在は在日米国大使館で勤務している。中国を中心にアジア、アフリカ、ワシントン DC で勤務。在職中、貿易促進と政策の両方に携わる。米国の航空・宇宙、防衛、半導体、先端製造技術の振興など、多様な貿易ポートフォリオに携わる。また、CHIPS、輸出管理、DOC のアドボカシーセンターにも携わる。

ジョージ・ワシントン大学(ワシントン DC)で国際経営学修士号(MBA)を取得。デンバー大学で経済学と政治学を専攻し学士号を取得、スコットランドのアバディーン大学で経済学を学んだ。

## 基調講演

経済産業省  
製造産業局 製造産業戦略企画室/ものづくり政策審議室  
室長補佐

### 太田 咲紀 様

2020年、早稲田大学政治経済学部卒業後、経済産業省に入省。経済産業政策局総務課、中小企業庁調査室、地域経済産業グループを経て、2023年6月より現職。

### 製造業の現状認識とDXに向けた政策の方向性

日本の製造業を巡る現状や直面する課題について講演を行う。特に、近年の製造業におけるDXとビジネスモデルの変化に加えて、その政策の方向性についても説明する。

CESMII  
Chief Technology Officer (CTO)



### ハレツシュ マルカニ 様

2018年より現職。CTOとしてCESMIIのテクノロジーミッション、ロードマップ、目標遂行を監督する。29年以上スマートファクトリー業界を経験、ノースウェスタン大学にて機械工学博士号取得。

### CESMIIのスマートマニュファクチャリングにおける分析

CESMIIは官民が協力して運営するスマートマニュファクチャリングに注力する米国団体である。米国エネルギー省予算を受け、カリフォルニア大学ロサンゼルス校に本拠地をおき、スマートマニュファクチャリング関連技術において最適化及び脱炭素の技術開発・分析を行っている。講演では、CESMIIが管轄する幅広い産業・プロジェクトの中で、米国内におけるケーススタディ及びトレンド分析等をご紹介します。

株式会社 日本政策投資銀行  
産業調査部  
調査役



### 佐無田 啓 様

2012年筑波大学大学院システム情報工学研究科リスク工学専攻修了、同年日本政策投資銀行入行。環境・CSR部(現・サステナブルソリューション部)、九州支店を経て、18年より現職(23年6月27日時点)

### 設備投資計画から見る国内製造業の生産システム投資動向

毎年、同行では各企業に対して設備投資計画の調査を行っており、その本年度の調査結果の概略講演を行う。

また、同調査にて確認した各企業におけるスマート工場における進捗状況についての説明も行なう。

国立研究開発法人  
新エネルギー・産業技術総合開発機構  
IoT推進部  
主査

### 小川 吉大 様

「5G等の活用による製造業のダイナミック・ケイパビリティ強化に向けた研究開発事業」プロジェクトマネージャ

### 日本のものづくり産業におけるNEDOの役割と製造業のダイナミック・ケイパビリティ強化に向けた取り組み事例の紹介

日本の製造業において新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)という機構の役割と貢献領域についての講演を行う。

また、同機構と日本企業の協調により行ってきた5G等の無線通信技術を活用した、製造業のダイナミック・ケイパビリティ強化に向けた取り組み事例についても説明を行う。

株式会社 野村総合研究所  
ICT・コンテンツ産業コンサルティング部  
プリンシパル

### 藤浪 啓 様

1993年3月慶應義塾大学理工学部物理学科卒業、同4月株式会社野村総合研究所入社、技術産業研究部、情報通信研究部、情報通信コンサルティング部を経てICT・コンテンツ産業コンサルティング部、一般財団法人神山財団理事、一般社団法人有機エレクトロニクス材料研究会副理事長

### 製造業のパラダイムシフトと日本企業にとっての機会～スケールフリーネットワーク型モデルへ～

製造業のパラダイムは、製品ビジネスからサービスビジネス変化するとともにムーアの法則にも基づく半導体の指数関数的な計算能力の増大に伴い、ものづくりにおけるソフトウェアの比率が飛躍的に拡大しグローバルにスケールアウト可能なビジネスシステムやデータ駆動型のイノベーションの重要性が高まりつつある。サーキュラーエコノミーやネットゼロに向けサプライチェーンやバリューチェーン横断でのデータ連携により全体最適化を図ることが求められている。このようなパラダイム転換のなか日本企業が直面し得る課題と機会について考察を行ない、求められる方策についても説明を行う。

株式会社 日本政策投資銀行  
業務企画部  
参事役



### 青木 崇 様

1996年 東海銀行(現三菱UFJ銀行)  
2008年 日本政策投資銀行  
2020年 産業調査ソリューション室長(産業分野統括)  
2022年 政策研究大学院大学シニアフェロー(出向)  
2023年 科学技術振興機構 CRDS フェロー(出向)

### 米国のマルチユース技術政策を背景とした製造業の新しい姿

米国を始めた製造業における国際的な市場の潮流についての講演を行う。

また、その市場潮流を読み解くことで見えてくる日本企業として挑戦できる分野や領域といった事柄についても説明を行う。

## ユーザ講演

平田機工 株式会社  
事業本部 第二ビジネスユニット  
熊本第二事業部  
事業部長



楠口 雄一 様

1990年平田機工株式会社入社  
家電分野向け、自動車分野向け生産設備をエンジニアとして経験したのち、2002年から約15年、北米の完成車メーカー向け生産設備を担当。2019年から担当部門と並行してデジタルエンジニアリングに取り組み、現在に至る

### 平田機工殿にて推進されるバリューチェーン改革事例

同社より3Dモデルを活用したものづくり工程におけるバリューチェーンについての紹介を行う。

従来より受注活動から設備の引き渡しに至るまでに3Dモデルを用いていた同社だが、その折々にバリューチェーン内で認知される課題に対して、改善活動を行なっている。

今回は、この現状認識から対策、そして、その効果に至るまでを説明いただくと共にこの3Dモデルを活用したバリューチェーンに関わる現在の同社の実績例についても紹介いただく。

株式会社 瑞光  
代表取締役社長 CEO



梅林 豊志 様

### 同社製品におけるDXの取り組みと設計領域のDX活用

近年の同社ユーザにおけるDX促進の背景から同社製品におけるDX化の取り組み及び、設計提案領域におけるDX活用の近年状況の説明を予定しています。

株式会社 デンソーウェーブ  
セールス・マーケティング統括本部  
取締役



玉木 暢幸 様

1985年日本電装株式会社(現デンソー)入社。  
国内・欧州で自動車部品営業に従事。  
2014年デンソーウェーブ入社。現在、セールス・マーケティング統括本部およびカスタマーサービス部担当。

### デンソーウェーブにおけるものづくり現場DXについて

グローバルに事業展開するデンソーグループにおいて非車載事業の中核を担うデンソーウェーブ。製品競争力の源泉であるものづくりの力をさらに高めるために、その知見を広く供給し社会・産業の発展に寄与していくために、DX活用は不可欠と位置づけている。本講演では、デンソー、デンソーウェーブの会社概要紹介のうえで、当社におけるものづくり現場DXの位置付け、具体的な活用事例、今後の方向性について取り上げる。

三菱重工業 株式会社  
デジタルイノベーション本部 DPI部  
主幹技師



石垣 博康 様

1994年三菱重工入社。制御装置設計業務から次世代制御装置開発へ移行。2012年より米国駐在し制御装置AS。2015年よりインテリジェントソリューション TOMONIプロジェクトに参画し、現在その責任者。

### 激変するエネルギー事業における三菱重工とお客様のDX

IoT/ビッグデータへの期待、幻滅、そして残ったものは何か？生成AIの急激な発展にどう対処していくべきなのか。「単なるデジタル活用」から「デジタルを前提としたビジネス」にどうやって切り替えていくのか。10年近いTOMONIの活動において、自分たちも悩みながら歩んできた。今後お客様との協力を通じて日本の産業界へ奉仕し、自分たちも含めた産業界の真のDXを実現に近づけていきたい。



## パートナ講演

シスコシステムズ合同会社  
IoT 事業部  
IoT Product Sales Specialist

中川 貴博 様



日系医療機器メーカーおよび外資系 IT 企業を経て 2016 年よりシスコシステムズに在籍。2019 年より現在の役割につき、製造業や電力事業のデジタル化を推進。日本および海外のお客様のスマートファクトリー案件に携わった経験を活かして、お客様の現場の DX のご支援。産業用ネットワークの各種業界団体にも在籍。

### スマートファクトリーネットワークとセキュリティのあるべき姿

スマートファクトリー化 DX を進めるにあたり、現場のデータをいかに収集し、利活用を進めるかが重要になっています。またそれに伴うセキュリティの懸念及びインシデントも報告されています。本セッションでは、ネットワークを通じたデータ収集と制御通信をどう安定させるかという課題に対して、その両方を実現し、セキュリティ対策も実装した工場ネットワークの有線・無線のあるべき姿について講演いたします。

日本ストラタステクノロジー株式会社  
事業開発部  
部長

香月 千成子 様



エッジコンピューティング製品の事業開発戦略および製品販売戦略を担当。長年にわたり IT テクノロジーエリアでコンサルタント、事業開発に従事し豊富な経験をもとにエバンジェリストとして活躍。ストラタスのエッジコンピューティングビジネスの成長を推進している。

### 事例で解説！製造 DX を支える”止まらない”エッジコンピューティング

製造業 DX の鍵は現場のデータを収集してリアルタイムに分析・活用することにあります。それを支えるシステムには安定稼働が欠かせません。本講演では、ロックウェル社との協調事例を含めて、産業の現場で DX を進める顧客の事例を元に、取り組みの課題と解決策を解説します。また、「業務を止めない」「管理・保守工数をかけない」「パワフル」な現場向けコンピューティング製品についてもご紹介いたします。

富士ソフト株式会社 インダストリー事業  
本部 インダストリービジネス事業部  
産業機器ソリューション部 部長

小西 大地 様



2004 年富士ソフト入社、Windows 系アプリケーション開発、2007 年 FA ネットワーク(PROFIBUS, FL-NET)設定支援ツール開発、2011 年ラダープログラミングツール開発、2015 年製造業の工場向けに IoT のインテグレーションを推進し現在

富士ソフト株式会社 イノベーション統括  
部 先端技術支援部 部長

三塚 正文 様



1996 年富士ソフト入社 Windows 系システム構築、1998 年 Web 系システムの構築、2003 年コラボレーションプラットフォームの構築、2010 年クラウド系システムのインテグレーション、2017 年先端技術支援部のリーダーを経て現在

### スマート工場を推進する企業への富士ソフトの取り組み～ロボティクス領域におけるスマート工場推進の取り組み及び近年における富士ソフトでの DX 対応について～

近年、シミュレーションを使う事例が増えてきており、ツールの利用は非常に便利になってきております。しかし、構想検討レベルなどの簡単なシミュレーションについては非常にハードルが低くなりましたが、複雑なものほどいろいろな知識を統合して対応する必要があります。その解決策のデモ展示した事例を紹介しながらご説明をします。また、お客様の DX に対して Sler の立場で取り組みをご紹介致します。

## ロックウェル・オートメーションの講演

ロックウェル・オートメーションの講演クラウド型 SaaS の ERP/MES ソフトウェアである「Plex」、エミュレーションソフトウェアである「Emulate3D」、リニア搬送装置と、工場ネットワークセキュリティのガイドラインを利用したスマート製造についてお話いたします。

ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社  
社長特命業務担当 シニア・エグゼクティブ  
**湊 則男**



### Let's ride the DX wave DX の波に乗ろう！

自動車業界の経験をもとに ERP システム(PLEX)導入に至った経緯とその特徴について説明する。

ロックウェル・オートメーション  
エンタープライズソフトウェア部門  
ビジネス開発担当副社長  
**ベン・スチュワート**



ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社  
エンタープライズソフトウェア  
ソリューションコンサルタント  
**藤澤 俊彦**



ロックウェル・オートメーション  
アジア太平洋地域のソフトウェアおよび  
コントロール担当ディレクター  
**エイドリアン・ギエッコ**



ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社  
グローバルデジタル設計ツール 部長  
**高松 典彦**



### スマートファクトリーを実現するための第一歩 ～ デジタルツインズの活用 ～

生産性の改善には、製造ライン提供を担うラインビルダ、生産設備メーカ、システムインテグレータ、オートメーション技術の提供者も一体となってデジタル改革を進めることが最も重要となっています。

米国発グローバル自律型工場・未来の製造業において、クラウド上のエミュレーションにより、フロントローディング・計画の精度を高め、生産現場における実効性のある DX が実現できるソリューション群をご紹介します。

### SaaS 型 製造実行システム(PLEX MES)による スマートマニュファクチャリング

製造現場における生産性や作業効率の向上、生産リードタイムや生産コストの削減が企業の収益性や競争力に影響するなかで、スマートマニュファクチャリングの採用が伸びています。これを迅速かつ安価に導入できるシステムとして、当社の PLEX は SaaS 型であり導入コストや TCO を従来よりも大幅に削減します。当講演では PLEX がもつ MES システムの機能や操作画面と、その周辺機能である ERP や QMS との関連についてもご紹介します。

ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社  
SI マネージャー  
**長谷川 朋輝**



ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社  
アプリケーションコンサルタント  
**白 淳石**



### 工場ネットワーク/セキュリティに対する共通課題と 課題解決のためのアプローチ

製造業を狙ったサイバー攻撃の高度化、巧妙化が進む中、工場の IoT 化への取り組みに伴い攻撃の起点が増加し、サイバー攻撃がより広く、深く影響を及ぼすようになってきています。本セッションでは、近年提唱されている工場セキュリティに対する共通課題やガイドラインに準じた課題解決アプローチ手法について講演いたします。

ロックウェル オートメーション ジャパン  
株式会社  
グローバルセールス&マーケティング  
アカウントマネージャー  
**菅原 一雅**



### 工場内を高速搬送、ロボットとも協働！ 次世代リニア搬送システムで実現する DX とは？

リニア技術は高速鉄道だけのものではありません。例えば工場内のベルトコンベアを弊社のリニア搬送システムに置き換えることで、“搬送のムダ”の最小化が可能です。さらに運ぶだけでなく、ロボットアームと複雑な動作での協働作業もこなし、加工・充填・箱詰め・梱包作業まで幅広く活用が可能。動作プログラムもシミュレーションソフトの設定から自動生成。人手不足を解消するための次世代 DX 具現化ソリューションを説明する。

---

## 協賛パートナーのデモ展示

シスコシステムズ合同会社

### 工場用・産業用ネットワーク製品およびセキュリティ製品の展示

シスコシステムズでは 10 年以上に渡り産業用ネットワーク製品を製造販売しております。本展示では、PLC などの現場の機器を繋ぐための、最新の産業用ネットワーク製品とセキュリティ対策ソリューションを展示しております。

富士ソフト株式会社

### デジタルツインで製造ラインの効率を最適化

本展示では、ロボットシミュレーションソフトを使い、複数台ロボットの同時制御を高精度にシミュレーション&最適化するサービスを提供しています。ファナック社製協働ロボット CRX を ROBOGUIDE でシミュレーション&Emulate3D とリンクして、工場のイメージを設計段階から確認可能です。自動車工場の生産ライン設計や最適化を検討されている方やシステムの調整に悩む方に必見となる内容となっております。

---

日本ストラタステクノロジー株式会社

### DX を進化させるエッジコンピューティング ztC Edge

製造現場のエッジ環境においてデータ収集・分析は必須です。そのためのシステム基盤には、安定稼働やセキュリティ対応、容易な運用、クラウド連携などが求められます。日本ストラタステクノロジーは 40 年に渡り、あらゆる業界の止められないシステムを支えてきました。今回、「業務を止めない」「管理・保守工数をかけない」「長期保守」など他にはない特徴を持つ堅牢・コンパクトなエッジコンピューティングを展示いたします。

---

## ロックウェル・オートメーションのデモ展示

### マグネムバーライトのデモ展示

フレキシブルなレイアウト構成及びフレキシブルな動作を実現できる商品です。

カーブ、分岐等のレイアウトで、マグネムバーライト製品のフレキシブルな動作を再現していきます。

- ・ 高速動作
- ・ フレキシブルなグループ動作(2 パータン) 品種振り分け動作
- ・ 自動衝突防止機能の再現

### Quick stick 150 製品のデモ展示

フレキシブルなレイアウト構成及びフレキシブルな動作を実現できる重量物用の商品となります。

1m のトラック上で、1 車両にて以下の動作を行います。

- ・ シンプルなシステム構成
- ・ 高速動作
- ・ フレキシブルな動作
- ・ ゼロスタートアップ動作

### Enterprise Solutions 展示

ロックウェル・オートメーションはお客様の DX 推進のサポートを行う多くのソフトウェアをご提供しています。その中から、以下のような製品紹介をご用意しています。

- ・ クラウド・SaaS 型の新世代 MES・ERP・QMS – Plex
- ・ AR を用いた作業指示 SaaS ソリューション – Vuforia Instruct
- ・ IIoT プラットフォームを用いたデータの活用 – Thingworx アプリケーション

### スマートファクトリーを実現するための第一歩 ～ デジタルツインズの活用 ～

生産性の改善には、製造ライン提供を担うラインビルダ、生産設備メーカ、システムインテグレータ、オートメーション技術の提供者も一体となってデジタル改革を進めることが最も重要となっています。

米国発グローバル自律型工場・未来の製造業において、クラウド上のエミュレーションにより、フロントローディング・計画の精度を高め、生産現場における実効性のある DX が実現できるソリューション群をご紹介します。

### ThinManager - シンマネージャー

ベンダーを問わず、様々なコンテンツ(アプリケーションソフト、HMI スクリーン、カメラ)を様々なデバイス(ThinClient、PC、タブレット、スマホ)に、自由自在に配信するソフトウェア。

### FactoryTalk Remote Access

VPN を使って遠隔地にある様々な FA デバイス(PLC、HMI 等)をモニター・操作できます。2 段階認証でセキュリティを担保

## ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社

rockwellautomation.com

expanding human possibility®

AMERICAS: Rockwell Automation, 1201 South Second Street, Milwaukee, WI 53204-2496 USA, Tel: (1) 414.382.2000, Fax: (1) 414.382.4444

EUROPE/MIDDLE EAST/AFRICA: Rockwell Automation NV, Pegasus Park, De Kleetlaan 12a, 1831 Diegem, Belgium, Tel: (32) 2 663 0600, Fax: (32) 2 663 0640

ASIA PACIFIC: Rockwell Automation, Level 14, Core F, Cyberport 3, 100 Cyberport Road, Hong Kong, Tel: (852) 2887 4788, Fax: (852) 2508 1846

ロックウェル オートメーション ジャパン株式会社 本社営業部 東京都中央区新川1-3-17 新川三幸ビル・中部支店 名古屋市中区錦1-6-5 名古屋錦シティビル・関西支店 大阪市淀川区宮原 4-1-14 住友生命新大阪北ビル・製品に関するお問い合わせ TEL: 03-3206-2784(カスタマケア)